

平成24年度県立大学地域貢献研究の研究成果について（ 完了報告 ・中間報告 ）

研究テーマ	福井県企業・産業界の台湾との戦略的ビジネス・アライアンスの構築
研究期間	平成 24 ～ 25 年度
主たる研究者	【学部・学科】 地域経済研究所                      【職・氏名】 教授 丸屋 豊二郎
<p>○研究目的</p> <p>本研究事業は、福井県企業・産業界が成長著しい中国・アジアの拡大する需要を取り込む手段として台湾企業とのビジネス・アライアンス構築を調査研究の面から支援するのが目的である。</p> <p>福井県は2012年2月に商工会議所会頭、知事をはじめとする約60人の企業関係者が台湾を訪問し台湾側の経済界と業務提携に関する覚書（MOU）を締結した。これを受け、福井県企業・産業界は台湾企業との各種商談会を予定するなど、その機運が高まっている。本研究事業では、こうした台湾企業とのビジネス・アライアンス構築に向けた動きを商工会議所、県地域産業・技術・振興課と緊密な連携を取りながら台湾側の関係支援団体・企業・工業団地との連絡調整や各種情報提供などを通して支援することである。</p> <p>○研究成果</p> <p>本研究事業の成果は、福井県と台湾の企業間ビジネスマッチングへ向けた事業支援と、福井県と台湾とのビジネス・アライアンス構築に向けた情報提供面での支援との2つに分けられる。事業支援では、①昨年11月に台湾で開催された福井・台湾中小企業ビジネス・マッチング支援、②同10月に台湾経済界の一つである台日商務交流協進会ミッション受入への協力、情報提供支援では、③日台アライアンス・シンポジウム（今年3月25日開催）、④『福井県・台湾ビジネス・アライアンス構築の手引き』報告書（本年3月末印刷製本）、併せて4点に集約される。以下、それぞれの成果を具体的に報告する。</p> <p>① 福井県・台湾中小企業ビジネスマッチング（商談会）支援</p> <p>「目に見える成果を上げる」ために福井商工会議所、県地域産業・振興課と相談のうえ、11月に開催された「福井県・台湾中小企業ビジネスマッチング」を最大の目標に掲げ、日台アライアンスの紹介、マッチングへの参加企業の勧誘から商談の成立に向けた支援まで、産・官・学が一致協力して支援に当たってきた。</p> <p>県大地域経済研究所は、まず10月に台湾を訪問し、台湾の日台アライアンス支援団体・企業・工業団地を訪問して事前調査を行った。その事前調査報告は商工会議所、県庁、マッチング参加企業に報告。またマッチングの2週間前には、日台アライアンスに精通し実績のある講師を招聘し、台湾との企業連携に向けた研修セミナーを開催した。そして11月13日（台北）、14日（台中）で開催されたマッチングにも同行し、参加企業の相談に乗ったほか、台湾を代表する開発区をアレンジ、訪問を希望する企業を随行して視察も行った。</p> <p>事前の周到な準備もあって、台湾でのマッチングへ参加した福井県企業12社に対し、台北市で34社の台湾企業が来場し50件の商談を行い、台中市では27社の台湾企業と延べ66件の商談を行った。マッチング終了時点での参加企業へのアンケート調査結果では、台北、台中を合わせた商談件数116件のうち、56件が商談の可能性があると回答を寄せた。その後のフォローアップ</p>	

では、商談成立への確かな手ごたえを感じている企業が3社ほどある。

## ② 台日商務交流協進会ミッション受け入れへの協力

日台アライアンスは台湾政府、財界とも熱心に奨励している。むしろ台湾側が日本に日台アライアンスを仕掛けたといってもよい。したがって、福井県側だけが一方的に台湾を訪問して商談会に参加するのではなく、台湾企業に福井を訪問していただくのも双方向交流という点で重要である。そこで福井県商工会議所連合会がMOUを締結した台日商務交流協進会理事長が私の友人であったこともあって勧誘したところ、福井テクノフェアに併せた台日商務交流協進会ミッション（総勢33人）の来福が実現した。テクノフェアへの台湾企業の参加は今回が初めてで、15ブースに出展してくれた。福井県企業と台湾企業との双方向交流に貢献できたことも今回の成果である。

## ③ 日台アライアンス・シンポジウムの開催（予定）

本年度、産・官・学が共同で取り組んだ福井県企業と台湾企業とのビジネスアライアンス事業の総決算として「日台アライアンス・シンポジウム」を3月25日に開催する。主催は県大地域経済研究所、共催が福井商工会議所、福井貿易促進機構（県）で、福井県企業・産業界だけでなく、ビジネスマンなど一般県民まで対象を広げて開催する。これまでの活動実績を踏まえ、今回のシンポジウムは実務的でビジネスに直結するようなシンポを目指す。「成長するアジアをいかに効攻略するか—日台アライアンスの意義と成功の秘訣—」というタイトルで、基調講演、パネリストのすべてが企業関係者からなる。台湾企業とアライアンスを結び、中国のみならず、他のアジア諸国や米日欧まで事業拡大に成功している最新事例を紹介し、今後を展望する。

## ④ 『福井県・台湾ビジネス・アライアンス構築の手引き』報告書の作成（予定）

これまで実施してきた現地調査、ビジネスマッチング、各種セミナー・シンポジウムなどで得た日台アライアンスに関する資料・情報をまとめて、福井県企業が台湾企業とビジネス・アライアンスを構築するのに役立つ手引書（報告書）を作成する。これはこれまで蓄積した情報を翌年度の活動につなげるためにも重要な成果である。多数の方々の利用に供するため、企業関係者に報告書として配布するほか、WEBにも掲載する。

## ○研究成果の発信状況（予定）

### (1) 発表雑誌、図書

- ・報告書『福井県・台湾ビジネス・アライアンス構築の手引き』の印刷製本

### (2) 講演会、シンポジウム

- ・「台湾との企業連携に向けた研修セミナー」（平成24年10月30日開催）
- ・「日台アライアンス・シンポジウム」（平成25年3月25日開催）

### (3) その他（新聞、TV、WEBなど）

- ・福井県と台湾とのビジネス・アライアンス支援  
（FBCラジオキャンパス「ようこそ県研大研究室」平成24年11月20日）
- ・日台アライアンス・シンポジウム（記者発表：福井新聞など）
- ・報告書『福井県・台湾ビジネス・アライアンス構築の手引き』WEBで公開（4月予定）